

オイルヒーターの発火事故

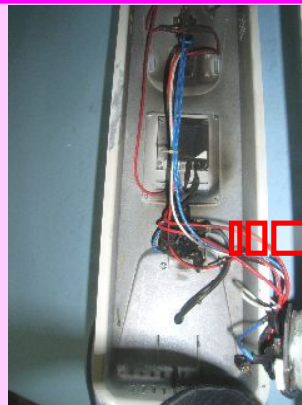
事故概要

共同住宅（マンション）の一室で、使用をはじめて3日目のオイルヒーターの電源を入れてから約5分後に内部に火が見えたため、オイルヒーターをベランダに運び様子を見てみると自然鎮火しました。その後、住人が119番通報しました。オイルヒーターの内部の配線が一部が焼損したものです。

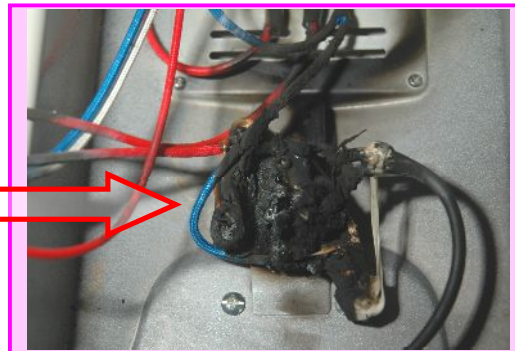
なお、このオイルヒーターは、枚方市内の量販店で購入されたものです。



発炎したオイルヒーター



外装パネルを外した状況



焼損した電源コードの接続部分

原因概要

中国製の製品であったため、輸入業者立会いで鑑識しました。原因は、オイルヒーターの電源コードと内部配線を接続する部品の締付け不良のため接触不良となり、発熱・発火したものです。使用をはじめて3日目ということで、製造過程でのミスが考えられます。

類似事故の防止対策

過去に、同機種のオイルヒーターで、同じ部分から発火した事案発生しており、使用を始めてから短期間で発火している事から、製造・設計において不備が考えられたため、輸入業者に社告を視野に入れた対応をとっていただくこととなりました。（平成20年3月15日付け社告【自主回収・点検修理】発表）

また、他の電化製品においても接触不良等の不都合を確認した時には、直ちに使用を止めて販売店等に相談するようにして下さい。

当該オイルヒーターは、2006年10月～出荷しており、18,605台が市場に流通しています。

製品名：オイルヒーター 型番CLV-065

【連絡先】輸入業者

(株)セラヴィ フリーダイヤル【0120-665-326】

・・・**火災が発生した場合は、直ぐに消防(119)へ通報してください。**・・・